

くすっ子

《花いっぱい 夢いっぱい 笑顔いっぱい 屈巢小》
花をさかせる学校・夢をはぐくむ学校・笑顔あふれる学校



鴻巣市立屈巢小学校
学校だより
令和4年6月30日

本校の伝統・「姿が、姿をつくる」

校長 諏訪 けん

一気に真夏を迎えたような気候になりました。学校のプールも水温が適温になるように、給水（プールに新たに水を入れること）をしながら、学習を進めております。

6月14日には、鴻巣市教育委員会の教育長と3名の教育委員さんによる学校訪問がありました。授業等の見学をされたのち、教育委員さんとの懇談の中で、次のようなお話をいただくことができました。

「私は、下校の時間帯に屈巢小学区を車で通ることが時々あります。その時、赤信号で横断歩道の手前で停まり、下校する児童と出会うことがあります。屈巢小の児童は、横断歩道を渡り終えると、必ず運転手の私にお辞儀をしてくれます。大変すがすがしい気持ちになります。児童がしっかり育っていると感じます。」

このお話を受けて、私は、

「それは、屈巢小のよい伝統になっています。学校（先生）からの指導よりも、過去の上級生（卒業生）が、登下校時によい手本をその時その時の下級生に示してくれているから、自然とまねをして、よい伝統となっているのだと思います。あそこまで定着しているのは、私も素晴らしいと思っています。」

と言葉を返しました。今振り返ると、上級生だけではなく、登校時に立ってくださっている交通指導員さんや当番の保護者の方々も、停まってくださった運転手さんに、会釈をしていることも話すべきでした。

このように、「（先輩や大人の）姿が、（児童の）姿をつくる伝統」が本校のよさの一つです。



地域の皆様へのお願い

登下校時に大地震が発生したら、児童の避難にご協力ください！

児童の登下校中に、立ってられないぐらいの大地震が万が一起きた際、児童には、「物が倒れてこない、動いてこない、落ちてこない」ところに身を低くして揺れがおさまるまで、待つことを指導しています。揺れが収まったら、基本的には、学校か自宅の近い方に向かい避難するか、それが難しい場合は、子ども110番の家や近くの家の人に助けを求めるようにさせていただいております。万が一、大きな地震が登下校時に発生した際は、怖さからどうしたらよいか判断できず、児童が立ち往生していることも十分考えられます。そのようなときは、地域の皆様に可能な限り児童の避難にご協力いただきたく、お願い申し上げます。なお、児童を保護していただいた際は、学校（569-0038）までご連絡をお願いいたします。どうぞよろしくお願いいたします。

